



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2024年4月1日

企業・団体名 富山交易株式会社

代表者名 代表取締役社長 遠藤忠洋

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和3年9月15日（宣言日又は令和5年4月1日）～令和6年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 社会インフラの新設ではなく、補強・補修工事による持続性・経済効率性の向上のため、当社およびコンクリート補修事業の認知度を高めるとともに、小口PFIの円滑な運用等により、機動的かつ資金負担の軽い工事手法の導入・拡大を目指す。</p> <p>【実施状況】 ①年商300百万円の実現、小口PFIによる工事実施については未達だが、北陸を中心に実績は着実に伸長。 ②㈱CSメンテを設立し、中日本ネクソからの受注を中心とした東海地方の工事取込み体制を整備した。 ③友好企業と共同で高速道路法面補強工事の際のスムーズなコンクリート注入を促進する器具を開発し、特許申請した。</p>
2	<p>【目標】 火力発電所の石炭灰といった、処理の難しい産業廃棄物の再利用促進を継続・発展させる。</p> <p>【実施状況】 ①七尾灰の取込みは実現・継続した(但し能登半島地震により中断中)。 ②事業再構築補助金を活用して可動式破砕機を導入しリサイクル品(k-ロック)の生産効率を大幅にアップさせた。 ③電力会社や県立大学と共同で、K-ロックに二酸化炭素や廃棄が必要な太陽光発電機のガラスを埋め込む研究を継続し、商品化を目指している。</p>
3	<p>【目標】 社員・その家族にとって「いい会社に勤めて良かった」と感じてもらえるよう、時流や社員の声などを的確に捉え、諸制度の整備・定着を進めていく。</p> <p>【実施状況】 ①iDeCo+制度、時差出勤制度については利用者も増加し、制度として社内定着が進んでいる。 ②第5土曜日を休日とし、完全週休2日は目前までできた。 ③年3回の役員による社員面接に加え、富山県よろず支援拠点等のに力も借り、経営陣に届きにくい社員の声を拾うことなどにより、問題点の抽出・解決に努めた。 ④各期ごとの個人目標設定の際、直属上司との面談によるすり合わせ及び意思統一を図ることとした。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。